

10. 農業 (地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

五島市の農業は畑作が中心で、肉用牛、葉たばこが主管作物となっています。最近では、五島茶、ブロッコリー、中玉トマトの産地化を進めています。



1. 専兼業別農家数(販売農家)

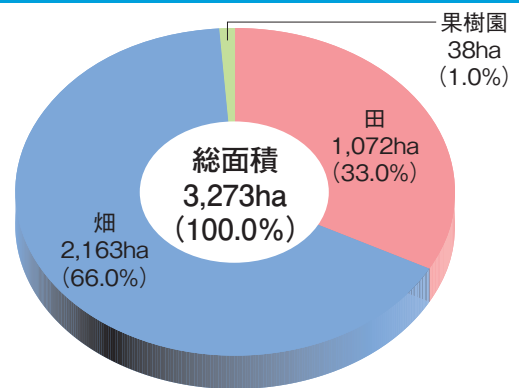
単位：戸

地区	販売農家数	専業農家	兼業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
総数	1,234	631	603	136	467
福江	531	279	244	61	183
富江	156	106	50	16	34
玉之浦	83	36	47	7	40
三井楽	133	77	56	27	29
岐宿	330	126	204	24	180
奈留	1	0	-	-	-

平成22年2月1日現在

2010年農林業センサス

2. 経営耕地面積の状況



平成22年2月1日現在

農林業センサス

3. 稲・麦・野菜生産量の推移

● 稲

年次	水 稻	
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成19年	927	3,710
平成20年	772	3,370
平成21年	775	3,170
平成22年	729	2,460
平成23年	692	2,920

長崎農林水産統計年報

● 麦

年次	小 麦		二条大麦		裸 麦	
	子実作付面積 (ha)	収穫量 (t)	子実作付面積 (ha)	収穫量 (t)	子実作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成19年	104	364	376	1,330	54	135
平成20年	111	373	367	1,330	37	100
平成21年	100	239	380	1,040	26	49
平成22年	68	141	397	1,010	17	34

(注) 合計には六条大麦を含む。

長崎農林水産統計年報

● 野菜

年次	かんしょ		ばれいしょ(4~3月)		キャベツ(4~3月)		ねぎ(4~3月)		さといも(4~3月)		レタス(4~3月)		ほうれんそう(4~3月)		たまねぎ(4~3月)	
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成14年	128	3,067	121	2,292	33	1,071	1	17	16	70	10	247	5	64	13	342
平成15年	103	2,310	106	1,840	22	674	1	15	15	81	13	286	5	61	12	308
平成16年	103	2,310	99	1,820	22	686	2	15	15	75	16	418	6	62	11	285
平成17年	66	1,620	91	1,770	22	686	2	14	15	76	20	473	6	63	11	306
平成18年	66	1,420	81	1,920	22	675	3	29	15	77	20	449	6	63	11	316

年次	なす(12~11月)		トマト(1~12月)		きゅうり(12~11月)		いちご(10~9月)		メロン(1~12月)		すいか(1~12月)		大豆	
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成14年	13	117	12	202	7	136	x	x	8	137	27	445	113	108
平成15年	13	112	11	198	8	141	2	32	8	118	27	406	86	60
平成16年	13	109	12	212	8	146	2	32	7	112	27	433	93	40
平成17年	13	118	12	231	8	262	2	28	7	117	27	444	60	27
平成18年	12	94	12	233	8	231	2	26	7	107	22	331	56	20

(注) 平成19年調査より市町ごとの数字が公表されなくなりました。

長崎農林水産統計年報



4. 家畜等を販売目的で飼養している農家数と飼養頭羽数

単位：農家数（戸）、頭数（頭）、羽数（羽）

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養羽数	出荷した農家数	出荷羽数
2	×	273	5,897	3	1,540	6	14,840	2	×

平成22年2月1日現在

2010年農林業センサス

5. 農産物販売金額1位の部門別農家数(販売農家)推移

単位：戸

区分	稲作	麦類作	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木	その他の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他の畜産	計
平成7年	713	65	184	148	79	45	8	11	17	16	370	14	5	88	3	1,766
平成12年	619	46	176	150	68	68	7	8	11	12	292	6	2	-	-	1,465
平成17年	429	36	96	131	79	61	13	7	8	5	241	4	2	-	-	1,112
平成22年	341	19	69	112	124	92	11	7	7	3	239	4	4	-	-	1,032

各年2月1日現在

農林業センサス

11. 漁業(地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

一本釣り、はえ縄、定置網が経営の主体ですが、生産の主体であるまき網漁業と合わせて減少傾向にあります。現在、マグロ養殖の基地化を進めており、今後に期待されます。

1. 漁業経営組織別経営体数推移

単位：経営体

年次	総数	個人経営体	会社	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営
昭和63年	1,582	1,522	24	7	2	27
平成5年	1,445	1,392	24	7	2	20
平成10年	1,278	1,241	20	5	1	11
平成15年	1,024	993	17	6	1	7
平成20年	860	833	21	1	0	5

各年11月1日現在

漁業センサス

2. 漁獲量推移

単位：t

年次	総漁獲量	海面漁業	養殖業
平成17年	19,847	17,536	2,311
平成18年	18,648	16,307	2,341
平成19年	20,181	18,387	1,794
平成20年	20,641	19,410	1,231
平成21年	18,800	17,344	1,456
平成22年	17,235	15,814	1,421

港勢調査

3. 漁獲高推移

単位：百万円

年次	総漁獲高	海面漁業	養殖業
平成17年	7,724	5,476	2,248
平成18年	7,513	5,151	2,362
平成19年	7,585	5,436	2,149
平成20年	6,582	5,034	1,548
平成21年	5,828	4,489	1,339
平成22年	5,804	4,179	1,625

港勢調査

4. 海面漁業魚種別漁獲量(五島市での順位)

単位：t

順位	魚種名	漁獲量
1位	さば類	5,850
2位	あじ類	4,139
3位	ぶり類	821
4位	いか類	542
5位	いわし類	528
6位	まぐろ類	293
7位	かつお類	172
8位	たい類	157
9位	たちうお	146
10位	いさぎ	131
11位	さわら類	122
12位	海藻類	72
13位	たこ類	66
14位	さんま	64
15位	貝類	59
16位	うに類	26
17位	えび類	25
18位	ひらめ・かいらい類	22
19位	さめ類	17
20位	海産ほ乳類	14
合計		16,044

※21位以降も含めた数値
平成22年海面漁業 平成22年度
生産統計調査